

## SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 2 月 10 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
信頼感・安心感のある「はごろも」ブランドの確立 自信・働き甲斐・生き甲斐の持てる会社を実現			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
「シーチキン」の原料であるマグロ・カツオを守る／持続可能な容器・包装資材への挑戦／食品ロス削減への取り組み／環境に対する取り組み／自信・働き甲斐・生き甲斐の持てる会社の実現			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023年12月31日までの取組目標
	・「フードバンクふじのくに」などへの製品の寄贈	・「フードバンクふじのくに」および「こども食堂」および児童養護施設への製品の寄贈を実施	・「フードバンク」「こども食堂」への製品の寄贈 ・児童養護施設への製品の寄贈
	・「フードバンクふじのくに」などへの製品の寄贈	・「フードバンクふじのくに」および「こども食堂」および児童養護施設への製品の寄贈を実施	・「フードバンク」「こども食堂」への製品の寄贈 ・児童養護施設への製品の寄贈
	・妊産婦への製品の寄贈	・妊産婦への製品の寄贈（静岡・清水・焼津）を実施	・妊産婦への製品の寄贈（静岡・清水・焼津）を実施 ・健康経営優良法人の取得
	・多様な働き方の推進（管理職登用の多様化）		・多様な働き方の推進（管理職登用の多様化）
	・工場での水使用量の削減 ・地域の清掃活動への参加	・2017年比0.5%削減	・2017年比0.5%削減見込み ・小さな親切運動静岡県支部主催の河川清掃への参加
	・二酸化炭素排出量のより少ない資材の使用 ・プラントおよび事務所のエネルギー排出量の削減	・バイオインクを使用した製品の発売、一部プラスチックトレイを廃止 ・省エネ法に基づき、2017年比1%削減	・パウチ製品のバイオインクへの切り替え、プラスチックトレイの廃止 ・省エネ法に基づき2017年度比1%削減
	・再生可能資源であるスチールおよびアルミ缶の使用継続 ・二酸化炭素排出量のより少ない資材の使用	・缶詰容器の新製品2品発売 ・バイオインクの包装資材製品の発売、乾物製品でプラスチックトレイを廃止	・再生可能資源であるスチールおよびアルミ缶の使用継続 ・パウチ製品のバイオインクへの切り替え、プラスチックトレイの廃止
	・人事制度の見直しによる就業機会の拡大	・在宅勤務および時差出勤の制度化	・人事制度の見直しによる就業機会の拡大
	・原料の100%利用（マグロ・カツオ） ・賞味期限の延長の検討 ・製造ロスの削減	・原料の100%利用（マグロ・カツオ） ・パパッとライス賞味期間延長	・原料の100%利用（マグロ・カツオ） ・自社プラント製造ロスの削減 ・賞味期間の延長
	・持続可能な原料への取組み強化 ・FSC認証資材の利用の強化	・MSC認証の1製品を発売（シーチキン） ・FSC認証資材の利用率15%	・持続可能な原料への取組み強化 ・FSC認証資材の利用率40～50% ・プラスチックトレイ頭包装資材削減
	・FSC認証資材（紙パック、カートン）の利用の強化	・FSC認証資材の利用率15%	・FSC認証資材の利用率40～50%
	・関連取引企業との良好な協力関係の継続	・関連取引企業への経営層の定期的な訪問を実施	・関連取引企業との良好な協力関係の継続

（記載上の注意）

- 1 取組目標は3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	はごろもフーズ株式会社	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	28 事業所
2	業 種	3. 製造業	
3	従業員（構成員）数	714 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役社長
		氏 名	後藤佐恵子
5	所 在 地	〒 422-8067	
		静岡県駿河区南町11番1号 静銀・中京銀静岡駅南ビル3階	
6	ホームページURL	<a href="https://www.hagoromofoods.co.jp/">https://www.hagoromofoods.co.jp/</a>	